

ジャン・ロンドー

チェンバロ・リサイタル

JEAN RONDEAU

Harpichord Recital

鬼才ロンドー、
山へ行く

パルナッソス山への階段

Gradus ad Parnassum

フックス：アルペッジョ

Johann Joseph Fux (1660-1741): Harpeggio

ハイドン：鍵盤楽器のためのソナタ(ディヴェルティメント) 第31番 変イ長調 XVI:46

Joseph Haydn (1732-1809): Keyboard Sonata (Divertimento) No. 31 in A flat major Hob.XVI:46

クレメンティ：「パルナッソス山への階段」作品44より 第45番 ハ短調 序奏 アンダンテ・マリナーコニコ

Muzio Clementi (1752-1832): 'Gradus ad Parnassum' op. 44 No. 45 - Preludio Andante malinconico in C minor

ベートーヴェン：ピアノまたはオルガンのための前奏曲 第2番 作品39/2

Ludwig van Beethoven (1770-1827): Prelude No. 2 for Piano or Organ op. 39/2

モーツァルト：ピアノのためのソナタ ハ長調 K.545

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791): Sonata for Piano in C major K.545

モーツァルト：ロンド イ短調 K.511

Mozart: Rondo in A minor K.511

モーツァルト：幻想曲 ニ短調 K.397

Mozart: Fantasia in D minor K.397

2019年神戸女学院小ホール公演より

©Takashi Iijima

Early Music Series

音楽の愉しみ

2:00PM開演(1:30PM開場)

公演時間 約75分(休憩なし)

A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

2023. 10/29 日

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口すぐ
JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

6/25

(日)

芸術文化センター
チケットオフィス

0798-68-0255

※窓口での販売(残席がある場合)は6/27(火)より

10:00AM-5:00PM

月曜休み
※祝日の場合翌日

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

6/23(金)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※未就学児はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



©Clément Vayssières

現代最高峰のチェンバロ奏者、 4年ぶり3度目の登場!

21歳でブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門に優勝。その後の活躍は目覚ましく、今では欧州の音楽界でその動向が注目されるジャン・ロンドー。

今回は、「Gradus ad Parnassum = パルナッソス山への階梯」と題し、鍵盤楽器が発展した古典期の作曲家を中心にとりあげる。

ギリシャに実在する「パルナッソス山」は、ギリシャ神話ではアポロンやニンフを祭り、芸術や学問の神ムーサが住むといわれる聖なる山。この山への一歩(グラドゥス)という意味をもつ「グラドゥス・アド・パルナッスム」というタイトルは、芸術分野では教則本などに用いられてきた。

それらの教則本のなかで音楽において重要とされ、ロンドーが身近な存在と慕うのは、1725年オーストリアの作曲家J.J.フックスが出版したラテン語による「グラドゥス・アド・パルナッスム」。対位法入門書である。この入門書は1742年にドイツ語版が出版されるとドイツ・オーストリアの音楽家たちに計り知れない影響を与えた。

ロンドーによるとハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンにとっては聖書にも等しい愛読書であったという。今回のプログラムは、そのフックスのアルペジジョからはじまり、彼の影響を受けたハイドン、クレメンティ、モーツァルト、ベートーヴェンの作品をとおしてその功績を紐解いてゆく。ハイドン、モーツァルトの時代は、チェンバロとフォルテピアノが隣り合わせに存在した時代。彼らがこれらの楽器を前に、宝石のような美しい作品を新しい興奮に包まれて作曲していたはずというワクワクするような事実から、彼らがイメージしていた「音」をロンドーがピュアな感情で表現していく。ロンドーならではのセンスによるプログラム、期待したい。

ジャン・ロンドー

チェンバロ

JEAN RONDEAU

Harpsichord

B.ヴェルレのもとで10年以上にわたってチェンバロを学び、その後、通奏低音、オルガン、ピアノ、ジャズと即興演奏、作曲、指揮の研鑽を積んだ。さらに、パリ国立高等音楽院でB.ランヌーとケネス・ワイスに師事して優等で卒業し、ロンドンのギルドホール音楽演劇学校で、チェンバロと通奏低音の優秀賞を受賞した。ソルボンヌ(パリ大学)では音楽学の学位を取得している。2012年、弱冠21歳という若さでブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門優勝。2013年RFP(ラジオ・フランコフォン・パブリック)新人賞、2015年には、ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ムジーク・クラシックソロ楽器部門賞を受賞。エラート・レーベルの専属アーティストとして、8枚のCDをリリース。2016年にはドイツの画家パウラ・モダーゾーン=ベッカーの伝記的映画「パウラ」の音楽を作曲。

《チケットご購入のお客様へお願い》

- ※新型コロナウイルス感染予防対策は、今後の状況により変更する可能性があります。最新の状況はウェブサイトをご確認いただきますようお願いいたします。
- ※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。
- ※やむを得ない事情により、公演の中止や、曲目等が変更される場合があります。予めご了承ください。



アクセス

